

## 第2期決算・社員総会開催

所沢市民ソーラー(TPS)の第2期決算・社員総会が2020年12月16日に開催されました。コロナ禍のため、正社員だけの出席で(オブザーバー1名参加)、かつ換気や消毒などの感染防止措置を講じた上で開かれました。

以下はTPS代表理事品川昭の総会報告です。

### 第2期決算社員総会のご報告

【日時】2020年12月16日(水)午後5時30分～8時40分

【場所】新所沢東公民館・研修室1号

【議長】品川昭代表理事、

【書記】塚本二郎理事

【議事】社員12名全員の出席を確認し、議事に入った。

①第2期事業活動報告(2019年11月1日～2020年10月31日)

栗田理事より発電売電実績は予測どおりとの報告、森理事より第1回設備保守点検報告、山崎理事より作物の栽培状況についての報告、大江理事より広報紙発行についての報告、大島理事よりGPP社との販売代理店契約の報告、中原副代表からソーラー発電コンサルタント事業について報告があり、一部修正の上承認可決された。

②第2期会計決算報告&監査報告

第2期会計報告は中原幹男・副代表理事より報告され、議案どおり承認可決された。(損益計算書および貸借対照表は、7,8頁に掲載)

び貸借対照表は、7,8頁に掲載)

監査報告は河登一郎・監事より報告され、承認可決された。

③第3期事業計画(2020年11月1日～2021年10月31日)

品川代表理事より事業計画が報告され、一部修正のうえ、承認可決された。

④第3期資金収支予算(案)は中原副代表から報告あり、承認可決された。

⑤第3期組織、人事について

品川代表理事より、山本治氏、大江宏氏、村上大名氏、吉野雅一氏の理事選任の提案あり、全員異議なく承認可決された。

(以上文責品川昭)

\*当総会の「議事録&議決書」を発行しています。ご入用の方は理事までご連絡ください。

### 第2回SDGsエコフォーラム in 埼玉で報告

当会の品川代表理事が、2021年1月30日、上記のフォーラム(会場は、市民会館うらわとオンラインで開催)の『脱炭素を目指し再エネの比率を増やすには!』分科会で、「所沢発市民でつくるソーラーシェアリング」のテーマで、TPSのこれまでの歩みを総括し、今後を展望しました。



## TOPICS 卸電力市場の取引価格高騰問題 大島浩司

昨年12月後半から、日本卸電力取引所(JEPX)の市場価格が異様な高騰を続けています。1月1日には100円/kWhを超え、1月12日の約定価格は200円/kWh、翌日には250円/kWhに達しました。それまでの市場価格は平均しても8円/kWh前後でした。それが、いきなり30倍になったのです。

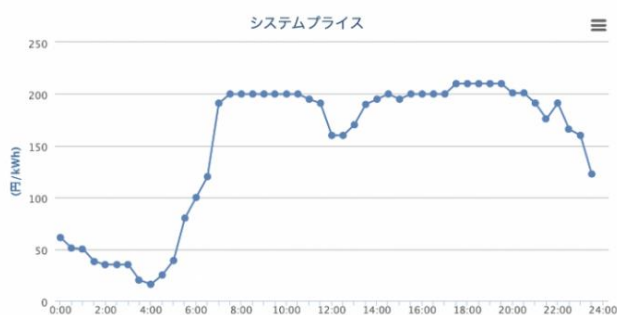


図 卸電力取引所の市場価格 (2021/01/12 約定分)  
JEPX (卸電力取引所) の取引情報より

つまり、電力の小売会社が今まで8円/kWh前後で仕入れていた電気が、何の前触れもなく突然30倍の価格になって請求されるということです。

ここで言う請求は電力の小売会社に対するもので、最終消費者の負担ではありません。ほとんど小売会社が負担している構図ですが、仕入れ価格連動性の料金形態の新電力は、仕入れ価格が上がれば消費者負担が増えます。この請求は2月ごろから始まりますが、1万円位の使用量だったお客様に突然数十万円の請求が届くことになります。

市民生活を脅かすこの原因は何だったのでしょうか？ 新聞報道などによると、発電用の天然ガスが足りなくなったからとの事です？

日本の電気の40%くらいは天然ガスで、100%輸入です。アメリカの東海岸、オーストラリア、中東などから運んでいます。要因の1つは、液化天然ガス(LNG)を積んだタンカーがパナマ運河で待機させられ動けない？ 新型コロナウイルス感染のために運河の要員が足りなくなった？ もう1つは、オーストラリアの天然

ガス基地でパイプラインが動かなくなった？ という説もあります。しかし、東電エリアではそれほどの逼迫ではなかったのです。都市ガスの価格が上がったという話も聞きません。

自前の発電所を持たない新電力の多くは、供給する電気を日本卸電力取引所(JEPX)から調達するしかありません。

また、新電力の多くは、FIT(再生可能エネルギーの固定価格買取制度)特定卸供給の再エネ発電所からの電気を利用しています。

われわれ、所沢市民ソーラーもこの制度を利用してグリーンピープルズパワー(GPP)に供給しています。2017年から制度化された送配電買取で、GPPはFIT発電所の電気を直接買い取れず、いったん送配電事業者(東京電力パワーグリッド)が買い取って、その発電所からの承諾を得ているGPPに「卸供給」する仕組みに変わりました。これが特定卸供給です。なお「卸供給」の単価は、市場価格に連動すると決められました。つまり小売事業者は、再エネ発電所の電気をFIT価格そのままではなく、市場価格で買い取らねばならないということです。

従って、送配電事業者(東京電力パワーグリッド)は所沢市民ソーラーから18円で買って、200円以上でGPPに売っていたという事になります。まさに濡れ手で粟的な収入です。(2021/01/23記)

注:この原稿はグリーンピープルズパワー株式会社ホームページより再編集いたしました。詳細は「グリーンピープルズパワー」で検索、トップページ下部の「日本卸電力取引所(JEPX)の市場価格高騰について~当社は、電気料金を値上げしません~」を御覧ください。



(TPS 理事、GPP(株)取締役)

## TOPICS 原子力課税の動向について 山本治

**現**在使用中の電力料金は、基本料金+使用料金+±発電原価調整額+再エネ発電賦課金で構成されています。±の発電原価調整額は、電気エネルギーのもとになる石炭・石油・LNGの市場での変動価格のために昇降があります。再エネ発電賦課金は、正式名称が再生可能エネルギー発電促進賦課金で太陽光発電、風力発電、バイオマス発電などの電力を育て、購入するために通常の電力料金に加算されています。これとは別に最近の新聞報道でわかったことで、「原発税」が、原発の停止中や廃炉でも事故後に税金が確保できるようにと制度が変えられ、原発内にたまる使用済み核燃料にも課税を強めたことがあります。

原発立地の自治体は、東日本大震災で原発が止まって固定資産税や電源への交付金が減少しました。自治体の課税には、原子力施設にかかる「核燃料税」と「使用済み核燃料税」があります。「核燃料税」は、これまでの使用する核燃料から原子炉の出力に応じ原発が止まっても一定の税金が確保できる「出力割」方式に変え、福井県から始まり拡大しています。この税金額が合計1兆円を超え、拡大見込みです。「使用済み核燃料課税」は2019年に佐賀県と愛媛県から始まり、2020年に中間貯蔵施設がある青森県むつ市も課税条例を制定しています。むつ市は、2021年からの稼働予定で5年の間に93億円の増収を見込んでいます。

このように電力会社が、「原子力税」を立地自治体に納税しており、今後はその回収のために電気料金に付加されるおそれがあります。

原発を連携して進めてきた政府・大手電力会社は、法律・金銭をはじめ様々な手法で自らの存続と推進を狙っており、その動向には目が離せません。

(TPS 理事)

注:核燃料税は、法定外普通税として、都道府県が条例で定める税金であり、原発の原子炉に挿入する核燃料の価格基準にして原子炉の設置者に課税するもの。再処理施設に対しても核燃料等取扱税(茨城県)や核燃料物質等取扱税(青森県)と

して課税している。さらに、使用済み核燃料対策として、原発立地自治体による「使用済み核燃料税」(柏崎市、薩摩川内市等)もある。(ウイキペディア等参考)(HO)

## 11月・12月の発電量実績

報告とコメント 栗田彰

月	2020年11月		2020年12月	
	日間発電量	金額	日間発電量	金額
日\単位	kwh	円	kwh	円
1	126.94	2,513	135.64	2,685
2	78.39	1,552	31.36	620
3	84.01	1,663	25.66	508
4	160.98	3,187	130.73	2,588
5	160.23	3,172	26.65	527
6	43.17	854	129.30	2,560
7	83.02	1,643	134.83	2,669
8	74.51	1,475	120.45	2,384
9	145.63	2,883	45.41	899
10	157.94	3,127	65.45	1,295
11	152.15	3,012	99.40	1,968
12	94.94	1,879	83.83	1,659
13	127.30	2,520	97.51	1,930
14	150.90	2,987	91.77	1,817
15	141.57	2,803	133.83	2,649
16	136.78	2,708	95.10	1,882
17	136.78	2,708	137.50	2,722
18	126.26	2,499	129.76	2,569
19	118.82	2,352	90.51	1,792
20	27.24	539	133.08	2,634
21	141.66	2,804	134.20	2,657
22	132.52	2,623	129.10	2,556
23	111.01	2,197	131.55	2,604
24	37.24	737	74.44	1,473
25	37.39	740	129.44	2,562
26	102.51	2,029	130.80	2,589
27	50.00	990	103.47	2,048
28	138.50	2,742	77.60	1,536
29	75.56	1,496	86.35	1,709
30	128.60	2,546	70.79	1,401
31			135.36	2,680
<b>合計(実績)</b>	<b>3282.55</b>	<b>64,980</b>	<b>3140.87</b>	<b>62,172</b>
(予測値)	2,758	54,608	2,721	53,876

### 《コメント》

11・12月とも日照に恵まれ、発電量は両月とも予想より500~400kWh多く、金額にして2カ月合計で1.8万円増となりました。発電所にとっては有難いことです。ただこの寒波のせいでしょうか、卸電力市場でスポット価格が急騰しております。(TPS 理事)



## 寄稿 2011.3.11 忘れない、あの日のこと 長谷川和世

**南** 三陸町立戸倉中学校は海拔15mの高台にあり、避難指定場所だった。地震のあと校庭に付近の住民や中学生が避難していたが、ここでもまさか津波が上がって来るとは思わず、流されていく町を見て呆然としていた。ところがあっという間に、正面と、ぐるっと回って後ろからと、両方から20m(マンション6階建の高さ)の津波の壁が襲い掛かり、1階天井に達した。校庭にいた人たちは小山と崖の両方に必死で逃げた。崖の上までたどり着いた中学生はジャージをつなぎ合わせて下から這い上がろうとする人を助けた。また、10も流され低体温でたどり着いた消防士は、男子中学生が短パンになって抱きつき暖めて蘇生した。中学生が一生懸命人工呼吸したが助からなかった人がいたが、教師がもういいとひきとめるまで続け、その後ハンカチで顔をきれいにしてあげた。ある教師は同僚とともに老夫婦を救おうとして波に飲まれ、一人だけ生き残った。



地震の時間で止まったままの時計がかかる戸倉中学校は、翌日が卒業式で、壊れた窓の中を覗き込むと、黒板には式の手順などが書き

残されていた。

残されていた。

残されていた。

(上の文章は、2014年9月に、3.11以来5度目の東日本大震災支援の旅に参加した時の記録です。)

何度も見た映像であっても、実際に現地に行き、被災した方の話を聞きながら実感することとは全く違います。町が流され、目の前で人が死ぬ、誰もが経験したことのない出来事の中で、とっさに行った戸倉中学校の救助活動を語り伝えていこうと思いました。

新型コロナウイルスの感染拡大による、何とも言えない不安感、閉塞感の中で年が明けました。

あの時は、国中から、世界中から支援があり、助けた日々がありました。

東日本大震災が起きてから、2021年3月11日で10年、いまこそ、そしていつまでも、あの日のこと忘れてはならないと改めて思います。



はせがわ/かずよ  
TPS山宇農園発電所  
建設資金協力者。  
2008年、43年間勤務  
した生命保険会社(事  
務職)を退職後、同年  
「公益社団法人認知  
症の人と家族の会(本  
部:京都市)」の活動  
に参加。立川市在住

## 寄稿 エコライフを勧めています! 上田マリノ



うえた/まりの  
所沢市在住。環境  
ナビゲーター所沢  
市の「マチエコアン  
バサダー」

初めまして、所沢市在住の4歳児ママの上田マリノです。学生時代は埼玉県立芸術総合高等学校、武蔵野美術大学へ通い、デザインやアートについて学んでいました。日々の課題制作に追われていた私が環境問題に興味を持ったのは、2006年頃でした。学校では定期的に作品発表をし、加えて作品の説明用にスチロールパネルに紙を

貼り付けたものを準備し展示します。発表後、作品は持ち帰ることもありますが、特にこのスチロールパネルはほとんどの人がごみ箱へ捨てていました。良いものを世の中に生み出したいと思いデザインの道へ進んでいたのですが、ごみの多さに違和感を持ったのがきっかけでした。その後環境問題について学びながら、表現アートやデザイン、イベントやSNS等を通じてエコライフの普及活動をしています。

活動の一環で、廃棄物、エネルギー、インテリア、お片付け、子役事務所やラジオDJなどなど、環境社会をテーマにビジネスや活動をする女性39名を取材し

まとめた『エコ娘が聞く! 環境世代へつなぐ女性39人~子どもたちへ環境問題を残したくないと思ったら読む本~』を2018年末に出版しました。39の環境に関する職業・活動を知ることができる職業図鑑のような今までにない1冊です。環境業界に携わる大人はもちろん、環境の仕事を知りたい学生や他業種の方など、環境社会が気になる全ての人々に手にしてほしいと思っています。やさしい文章ですので、中学生以上の子へのプレゼントにもおすすめです!

縁あって2015年度からの5年間は所沢市の「マチごとエコタウン所沢構想」の趣旨や市の環境施策を市内外に紹介し環境配慮行動の普及を図る「マチエ

コ大使」を務めさせていただきました。2020年度からは新たに「マチエコアンバサダー」となり、市の皆さんが環境について考えるきっかけづくりをお手伝いすることとなりました。

新型コロナウイルスの影響でなかなか活動できない日々が続きますが、育児が少し落ち着いてきたこともあり、今後は地域の皆さんと足元からグリーン・リカバリーに取り組んでいきたいと思っています。所沢が持続可能で暮らしやすい街としてこれからも発展していくことを願っています。

## コロナ禍に思う(5)

### 新型コロナパンデミック

マリオン・サラウン・フェアバンクス

Marion Salaün Fairbanks

**コ**ロナウイルスのパンデミックは、わずか1年前にはだれも予測できなかったものですが、紛れもなく世界中で重大な影響を及ぼしています。コロナウイルスの感染リスクを減らすために、すべての人が日常生活とこれまでの当り前の様々を変えねばならなくなっています。新型コロナウイルスは、国ごとに異なる影響を及ぼし、その結果、すべての国が新型コロナウイルス、その感染具合、および変異ウイルスと戦うために独自のアプローチを採用しました。私の母国フランスは、ほぼ制限なしに長い間国境を開いたままにしていましたが、残念ながら、ウイルスのかなり自由な流通を可能にしました。諸制限と夜間外出禁止を繰り返すことで、3回目の国境封鎖を回避したいと考えています。フランスの人々は当初、習慣がないこと、また政府からそうするように言われたこともあり、マスクを着用することを躊躇していましたが、今でははるかに広く受け入れられています。

日本は非常に早い段階で外国との国境を閉鎖し、日本人のマスク着用習慣、自己規律、秩序の尊重な

どが、第一波の広がりを封じ込めるのに役立ちました。日本で最も印象的なのは、日本人がどれほど推奨事項を尊重しているかということ、また新型コロナウイルスと戦うために問題の発生源と対策に、いかに効率的に対処したかということです。埼玉県では、大勢が押しかけてこないように彼岸花(曼珠沙華)が刈られていると聞いて、とても驚きました。フランスで、そうした状況があったとしても、同じ決定が下されたかどうかはわかりません。目下の非常事態宣言が第三波の克服に成功することを願っています。

残念ながら、パンデミックと1年、さらに長い時間の闘いで、コロナ疲れが世界中に蔓延しています。間もなく幾種類かのワクチンを利用できるようになるのは、非常に幸運と言えます。

新型コロナウイルスによるパンデミックが残したもの



Marion. S. Fairbanks  
フランス出身で、アメリカに17年、トルコに1年、瑞穂町に3年住んでいます。夫婦と2人の子供、全員日本が大好き。今夏の東京オリンピックのBMX(Bicycle Motocross)競技の大会ボランティアでの参加を楽しみにしています。

として、世界中の社会文化的習慣に対する長期的な影響を研究することは興味深いでしょう。私たちは、この先、今は楽観的に思える普通の生活に戻ることができるでしょうか（たとえば、フランスでキスをして挨拶するなど）？ もし戻れるとすれば、通常通りの生活再開までにどれくらいかかるでしょうか？

(Covid Pandemic: 原文英語、翻訳:TPS 大江)

## 感染対策に思う 栗田彰

**感**染者の増加が急激になってきており、明らかに今までのステージとは違う様相を見せています。しかし、この一年間で良くも悪くも見えてきたことがあります。

広島県では、80万人の無料PCR検査を広島市で実施することを決めました。和歌山県、世田谷区などを含めて、地方自治体の積極的な方針が国の感染対策に先んじる流れが起きています。保健所経由の多くは未だに「発熱したら」「医師が認めたら」の検査です。無症状の感染者がおり、感染力があるのはすでに知られた事実になっているので、このことを考慮に入れた対策が必要なのに、政策が変えられないのはまるで敗戦時と同じようだという人もいます。

この事実に基づいて方針を変えられるのか、国（保健所）からの方針を漫然と続けているのかが自治体の大きな違いとなって表れていますが我が所沢市はどうでしょうか。保健所が無い為市内の死亡者数さえ分かっています。

政府は特措法改正で罰則を入れようとしていますが、「感染が無くならないのは国民が守らないからだ」という思考が根元にあるようで、自らの無策を国民のせいにするという本末転倒に陥っているのではないかと勘繰ります。

(TPS 理事)



## 社員自己紹介 大江宏

**定**年後、地域デビューでやりたいことをいくつか試しているうちに、幸運にも3年前にTPSと出会いました。日本の農業問題とエネルギー問題の解決に、さらに地域社会の活性化に貢献できるのは、このソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）だとひらめきました。



四十数年を大学教員として、流通、マーケティング、環境ビジネスなどの研究・教育に関わってきましたが、どうしても建前論になっているのでは、と感じていました。ソーラーシェアリングは、環境ビジネス研究の想いを現実で実践する対象であると思いました。

TPSとの出会いも、ここ十年近く「鉱山開発と環境問題」の視点から訪ねてきたモンゴルが接点になったことも偶然以上でした。それは、モンゴルにおけるソーラーシェアリング事業の現地調査で、開発主体の日系企業の日本本社（「ファームドウ」：群馬県）訪問をサポートして下さったのが、TPSとメンバーの方々でした。

「地球思考・地域実践」を大切に、百戦錬磨のTPSの仲間みなさんと一緒に、所沢の持続可能なまちづくり・社会づくりに少しでも長く関わっていけたら嬉しいと思っています。

### 新着情報・遅着情報

#### 『市民発電所台帳 2020』の発行

NPO 法人市民電力連絡会が、全国765か所の太陽光発電所（TPSを含む）に加え、風力、小水力、バイオマス発電なども含めた市民発電事業の実態を調査し、データを集計、分析したものです。市民発電所の「トラブル調査」も実施していて、トラブルの事例が集計・解説されています。第二部では、13の事例紹介があり、TPSの村上大名理事も執筆に参加しています。（調査期間：2019/5～2020/7）（2020/11/15発行）

第2期 損益計算書 2020年10月決算

(2019年11月1日から2020年10月31日まで)

一般社団法人 所沢市民ソーラー  
単位・円

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 事業収益		
再生可能エネルギーの普及推進事業（上映会）	0	
太陽光発電事業	675,216	
		675,216
2 その他収益		
受取会費	47,500	
受取利息	27	
		47,527
経常収益計		722,743
II 経常費用		
1 事業費		
（1）人件費		
人件費	0	
（2）その他経費		
土地登記費用	250,000	
東電&FIT認定費用	200,432	
減価償却費	474,566	
その他	325,082	
事業費計		1,250,080
2 管理費		
（1）人件費		
人件費	0	
（2）その他経費		
消耗品	4,891	
支払会費	6,000	
会場費	2,310	
管理費計		13,201
経常費用計		1,263,281
III 経常外収益		
所沢市補助金（注1）	1,344,000	
国税還付金	71,781	
		1,415,781
IV 経常外費用		
		0
① 税引前当期純利益（I-II+III-IV）		875,243
法人税等		70,000
② 当期純利益（注2）		805,243
当期法人所得税		0
税引後当期利益		805,243
③ 前期繰越利益		118,520
次期繰越利益（②+③）		923,763

\*当年度所得税は、（注1）所沢市補助金が課税対象外所得のため、課税0となりました。

第2期 貸借対照表 2020年10月決算

(2020年10月31日現在)

一般社団法人 所沢市民ソーラー

単位 円

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金及び預金	2,283,229	
仮払金	0	
立替金	0	
未収入金	0	
前払金	0	
建設仮勘定	0	
流動資産合計		2,283,229
2 固定資産		
太陽光発電システム	6,332,040	
東電&FIT認定費用	0	
東電系統連系工事費	327,694	
地上権設定登記料	0	
敷地整備工事費	280,800	
固定資産合計 (注4)		6,940,534
資産合計		9,223,763
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
短期借入金 (注1)	0	
未払金	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
基金 (注2)	3,800,000	
建設協力金 (注3)	4,500,000	
固定負債合計		8,300,000
負債合計		8,300,000
<b>III 正味財産の部</b>		
前期繰越正味財産	118,520	
当期正味財産増加額	805,243	
正味財産合計		923,763

(注1) 短期借入金：社員5名よりつなぎ資金として借入。(金利0)。5名に140万円返金

(注2) 基金の内訳：社員10名200万円、町田市民電力(株)200万円。町田電力へ第1回返金200,000

(注3) 建設協力金：建設資金1口10万円×30口。社員短期借入残150万円を移動。

(注4) 初年度償却率(0.127の1/2：0.064) 償却額(474,566)

一般社団法人(非営利型)所沢市民ソーラー会報 (略称 TPS会報)

第7号 2021年(令和3年)2月1日発行

編集:TPS編集委員会 発行責任者:品川 昭

連絡先 e-mail : [tokorozawa.shimin.solar@gmail.com](mailto:tokorozawa.shimin.solar@gmail.com)

